

# 2006年2月期 中間決算説明会

2005年10月25日



**株式会社 メディカルー光**

(JASDAQ 証券コード 3353)

**. 2006年2月期 中間決算概要**

**. 2006年2月期 通期見通し**

**. 今後の事業戦略**

# P/L

- 経常利益は前年同期比38.7%増
- 売上高販管費率は0.5%低下 (6.8% 6.3%)

(単位:百万円)

	04年8月中間期		05年8月中間期		05年8月中間期		前期比	計画比
	実績	構成比	計画	構成比	実績	構成比		
売上高	4,433	100.0%	5,100	100.0%	5,190	100.0%	+ 17.1%	+ 1.8%
売上原価	3,971	89.6%	4,594	90.1%	4,654	89.7%	+ 17.2%	+ 1.3%
売上総利益	462	10.4%	505	9.9%	536	10.3%	+ 16.0%	+ 6.1%
(単純粗利)	1,546	34.9%	1,701	33.6%	1,719	33.1%	+ 11.2%	+ 1.1%
販管費	302	6.8%	325	6.4%	327	6.3%	+ 8.3%	+ 0.6%
営業利益	159	3.6%	180	3.5%	208	4.0%	+ 30.5%	+ 15.6%
経常利益	130	3.0%	154	3.0%	181	3.5%	+ 38.7%	+ 17.5%
中間純利益	87	2.0%	55	1.1%	72	1.4%	16.9%	+ 30.9%

単純粗利 = 売上高 - 薬剤等仕入原価  
(参考)

外形標準課税を6百万円計上

特別損失を47百万円計上

# ■ 事業部門別売上とコスト分析

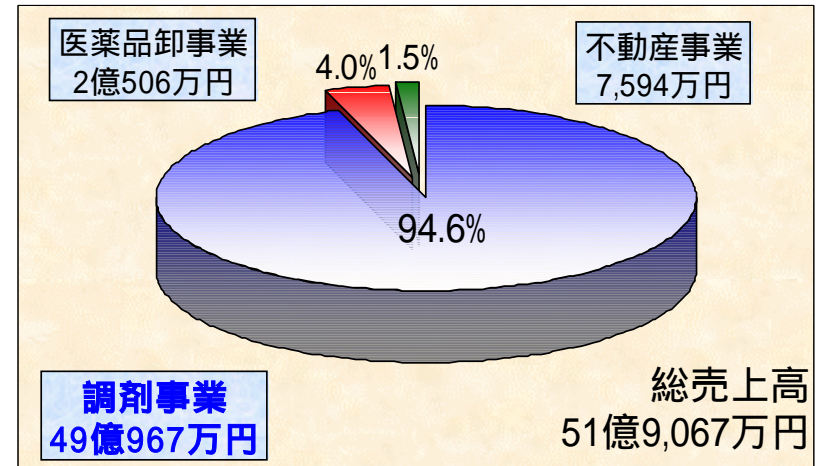
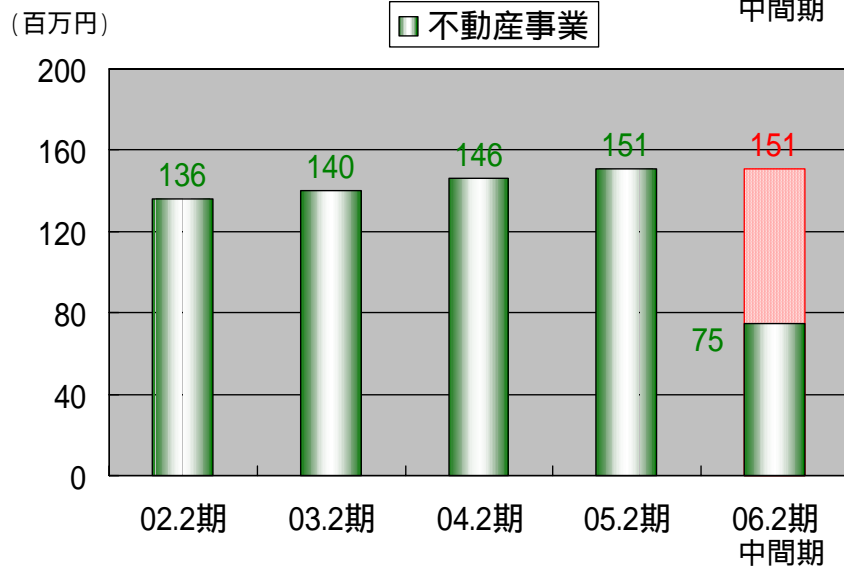
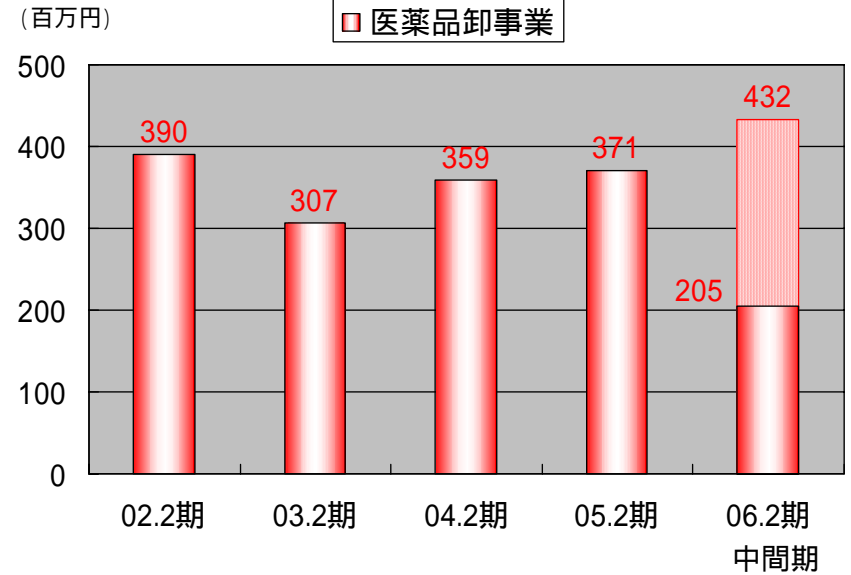
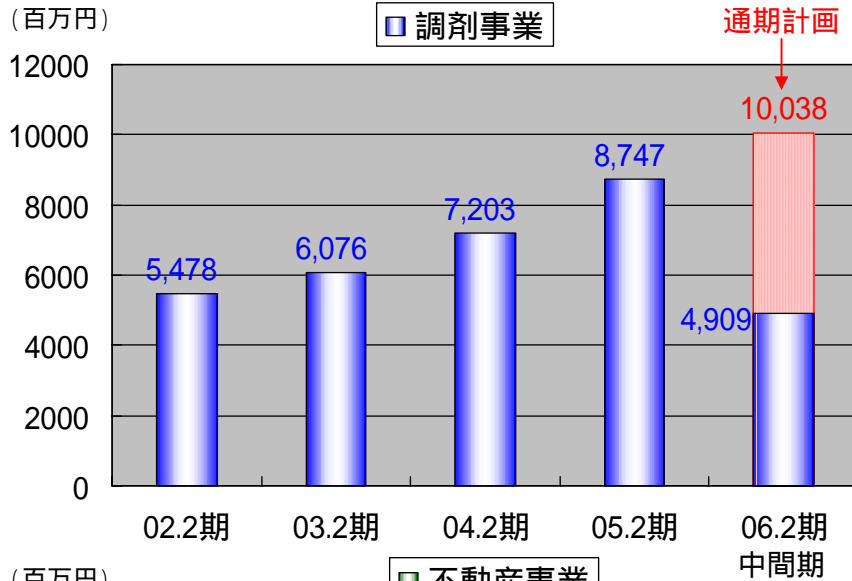
(単位:百万円)

	04年8月中間期		05年8月中間期		05年8月中間期		前期比	計画比
	実績	構成比	計画	構成比	実績	構成比		
売上高合計	4,433	100.0%	5,100	100.0%	5,190	100.0%	+ 17.1%	+ 1.8%
調剤事業	4,173	94.1%	4,827	94.7%	4,909	94.6%	+ 17.6%	+ 1.7%
(薬剤料)	3,021	68.1%	3,574	70.1%	3,675	70.8%	+ 21.7%	+ 2.8%
(技術料)	1,121	25.3%	1,222	24.0%	1,202	23.2%	+ 7.2%	1.6%
医薬品卸事業	184	4.2%	196	3.9%	205	4.0%	+ 11.3%	+ 4.6%
不動産事業	75	1.7%	75	1.5%	75	1.5%	+ 0.4%	+ 0.1%

販管費合計	302	100.0%	325	100.0%	327	100.0%	+ 8.3%	+ 0.6%
(人件費)	185	61.4%	199	61.1%	194	59.3%	+ 4.5%	2.4%
(租税公課)	18	6.0%	25	7.9%	24	7.3%	+ 33.1%	7.1%
(その他)	98	32.6%	100	31.0%	109	33.4%	+ 11.1%	+ 8.4%



# ■ 事業部門別売上高



# ■ 新規出店

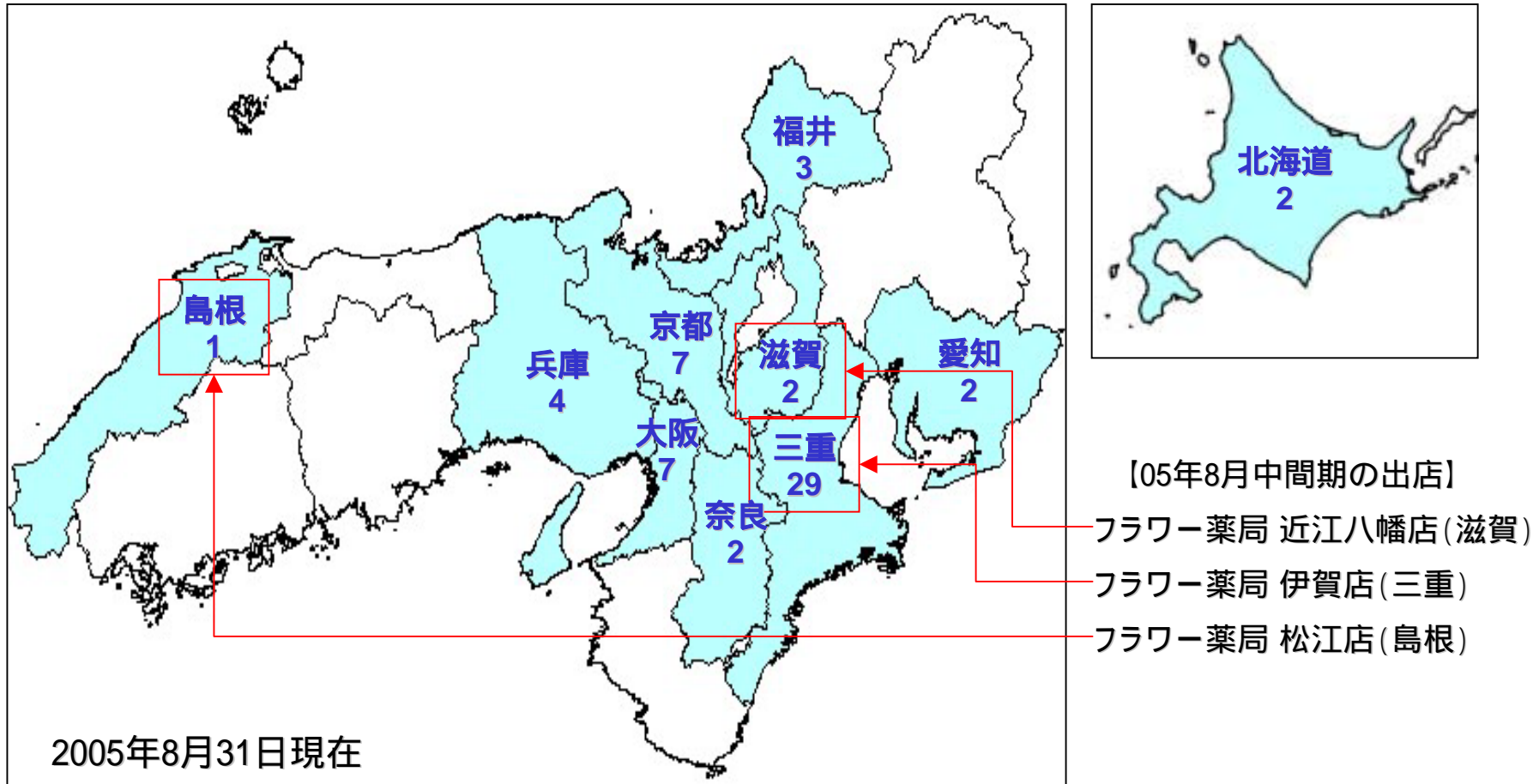
## ■ 新規出店と不採算店の閉店

	05.2月末 店舗数	05.8月中間期		05.8月末 店舗数
		出店	退店	
大型・中堅病院	32	3	1	34
開業医・診療所	26	0	1	25
計	58	3	2	59

- 上期は3店舗を新規出店
- 通期では下期開局準備中の3店舗を合わせて、計画通り6店舗を出店予定
- 上期は不採算店2店舗を退店
- 下期は病院移転に伴い1店舗を退店予定

# ■ 店舗展開の状況

- 1道2府7県に59店舗を展開



# 調剤事業の業績

(単位:百万円)

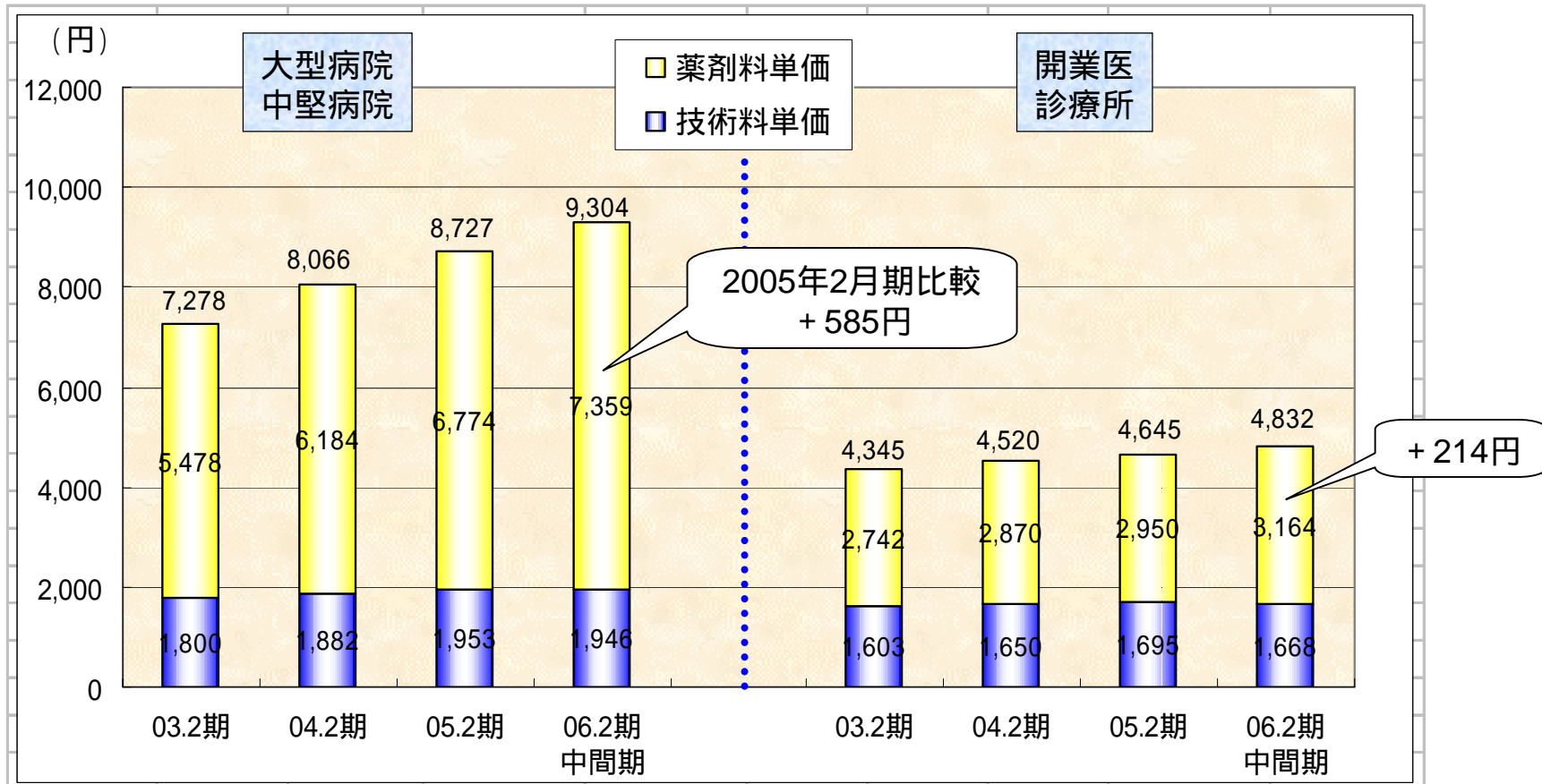
開局期別 売上構成	04年8月中間期		05年8月中間期		増減額	前年比 (%)
		構成比		構成比		
売上高合計	4,173	100.0%	4,909	100.0%	+ 736	+ 17.6%
既存店	3,968	95.1%	4,182	85.2%	+ 214	+ 5.4%
05.2期出店	205	4.9%	662	13.5%	+ 457	+ 222.9%
06.2期出店	-	-	64	1.3%	+ 64	-

売上原価 内訳	04年8月中間期		05年8月中間期		増減額	前期比 (%)
		構成比		構成比		
売上原価合計	3,803	100.0%	4,473	100.0%	+ 670	+ 17.6%
(材料費)	2,739	72.0%	3,304	73.9%	+ 565	+ 20.6%
(労務費)	762	20.0%	839	18.7%	+ 77	+ 10.1%
(その他)	302	8.0%	330	7.4%	+ 28	+ 9.3%
売上総利益	370	-	436	-	+ 66	+ 17.8%



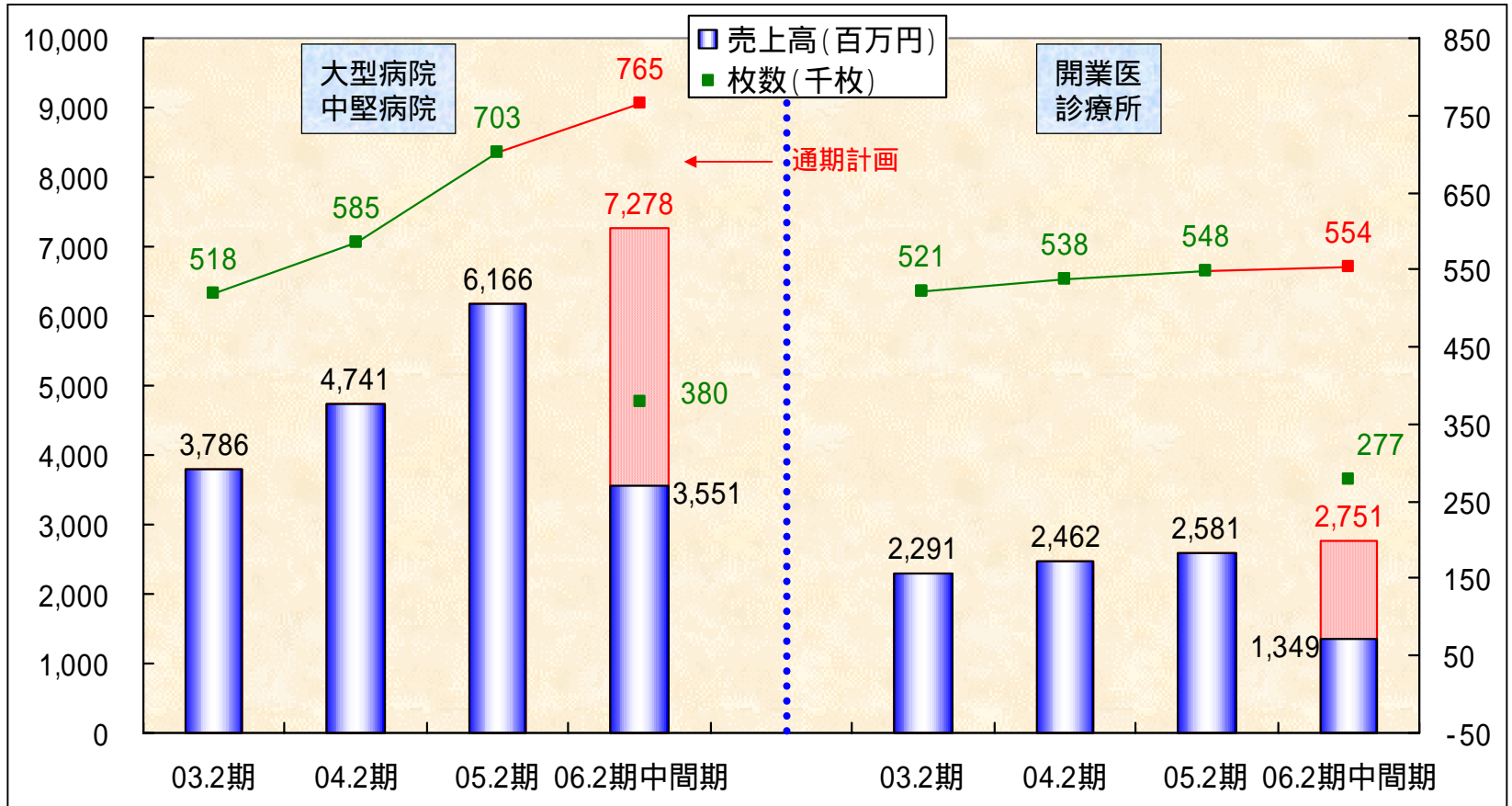
# ■ 店舗規模別 処方箋単価

## ■ 大型/中堅病院の薬剤料単価が上昇



# ■ 店舗規模別売上高

## ■ 大型/中堅病院の枚数・売上が増加



# B/S

## ■ 売掛債権の一部流動化等により財務指標が改善 (単位:百万円)

	05年2月期		05年8月中間期		増減額
		構成比		構成比	
流動資産	2,992	43.6%	2,802	41.1%	190
現預金	1,199	17.5%	1,148	16.9%	50
売掛金	1,317	19.2%	1,132	16.6%	184
その他	476	6.9%	521	7.7%	+ 45
固定資産	3,866	56.4%	4,009	58.9%	+ 143
有形固定資産	3,265	47.6%	3,323	48.8%	+ 57
無形固定資産	28	0.4%	31	0.5%	+ 3
その他	572	8.4%	654	9.6%	+ 82
資産合計	6,859	100.0%	6,811	100.0%	47
負債合計	4,843	70.6%	4,773	70.1%	70
流動負債	2,346	34.2%	2,438	35.8%	+ 91
固定負債	2,496	36.4%	2,335	34.3%	161
株主資本計	2,015	29.4%	2,038	29.9%	+ 22
負債・資本合計	6,859	100.0%	6,811	100.0%	47

売掛債権流動化  
290百万円

買掛金増加  
145百万円

長期借入金返済  
256百万円

借入金

05年2月 3,074百万円

05年8月 2,762百万円

( 312百万円)

自己資本比率UP

# C/F

(単位:百万円)

	2004年8月 中間期	2005年8月 中間期	増減額	
営業活動による キャッシュフロー	23	468	445	売掛債権の流動化 290百万円
投資活動による キャッシュフロー	85	174	89	有形固定資産取得 130百万円
財務活動による キャッシュフロー	106	344	237	差入保証金預入 53百万円
現金等の増加額	168	50	118	長期借入金及び 社債の返済 362百万円
現金等の期首残高	956	1,199	242	
現金等の期末残高	787	1,148	361	



. 2006年2月期 中間決算概要

. 2006年2月期 通期見通し

. 今後の事業戦略

# ■ 2006年2月期 見通し

- 売上高・経常利益ともに過去最高を更新見込み
- 売上高販管費率は0.5%低下 (6.7% 6.2%)

(単位:百万円)

	2005年 2月期		2006年 2月期		増減額	増減率
	実績	構成比	計画	構成比		
売上高	9,270	100.0%	10,620	100.0%	+ 1,350	+ 14.6%
売上原価	8,254	89.0%	9,575	90.2%	+ 1,321	+ 16.0%
売上総利益	1,016	11.0%	1,045	9.8%	+ 29	+ 2.9%
販管費	614	6.7%	660	6.2%	+ 46	+ 7.5%
営業利益	401	4.3%	385	3.6%	16	4.0%
経常利益	308	3.3%	324	3.1%	+ 16	+ 5.2%
当期純利益	166	1.8%	136	1.3%	30	18.1%

新規出店が期の後半となるため、先行経費を下期に予算化 (経常利益影響額 59百万円)

退職給付会計基準の変更に伴う特別損失47百万円を計上

外形標準課税を販管費にて12百万円計上

# 2006年2月期 見通し

(単位:百万円)

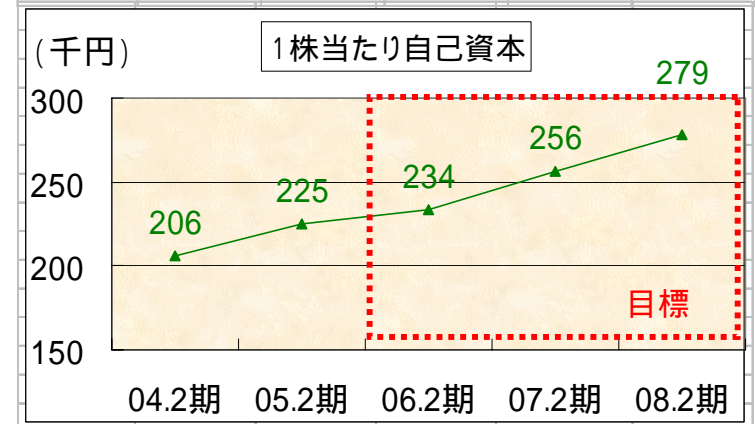
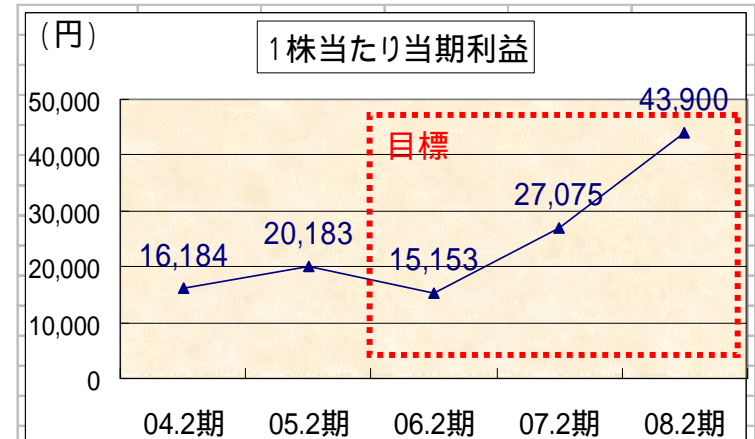
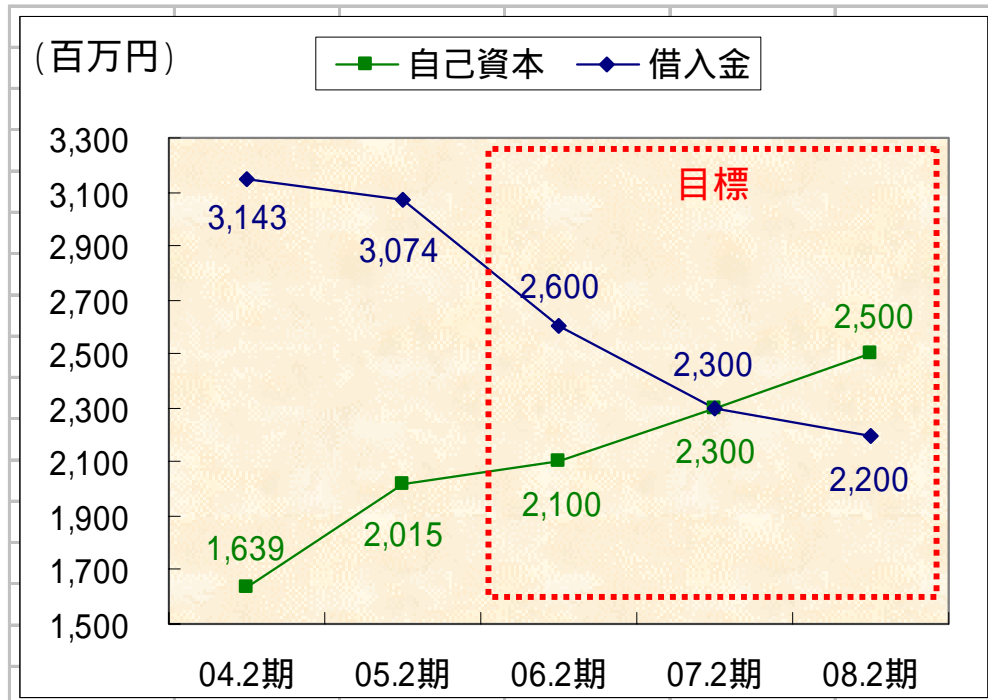
	2005年 2月期		2006年 2月期		増減額	増減率
	実績	構成比	計画	構成比		
売上高合計	9,270	100.0%	10,620	100.0%	+ 1,350	+ 14.6%
調剤事業	8,747	94.4%	10,038	94.5%	+ 1,291	+ 14.8%
( 薬剤料 )	6,381	68.8%	7,543	71.0%	+ 1,162	+ 18.2%
( 技術料等 )	2,366	25.5%	2,495	23.5%	+ 129	+ 5.4%
医薬品卸事業	371	4.0%	432	4.1%	61	+ 16.4%
不動産事業	151	1.6%	151	1.4%	0	± 0.0%

販管費合計	614	6.7%	660	6.2%	+ 46	+ 7.5%
( 人件費 )	366	3.9%	398	3.7%	+ 32	+ 8.7%
( 租税公課 )	34	0.4%	51	0.5%	+ 17	+ 50.0%
( その他 )	214	2.3%	211	2.0%	3	1.4%

外形標準課税12百万円

# 財務指標目標

- 1、2006年2月期の投資額は295百万円(M&Aは除く)
- 2、借入金の減少 3,074百万円 2,600百万円(売掛債権の一部流動化)
- 3、自己資本の増加
- 4、減損会計対応は2007年2月期 100百万円予定



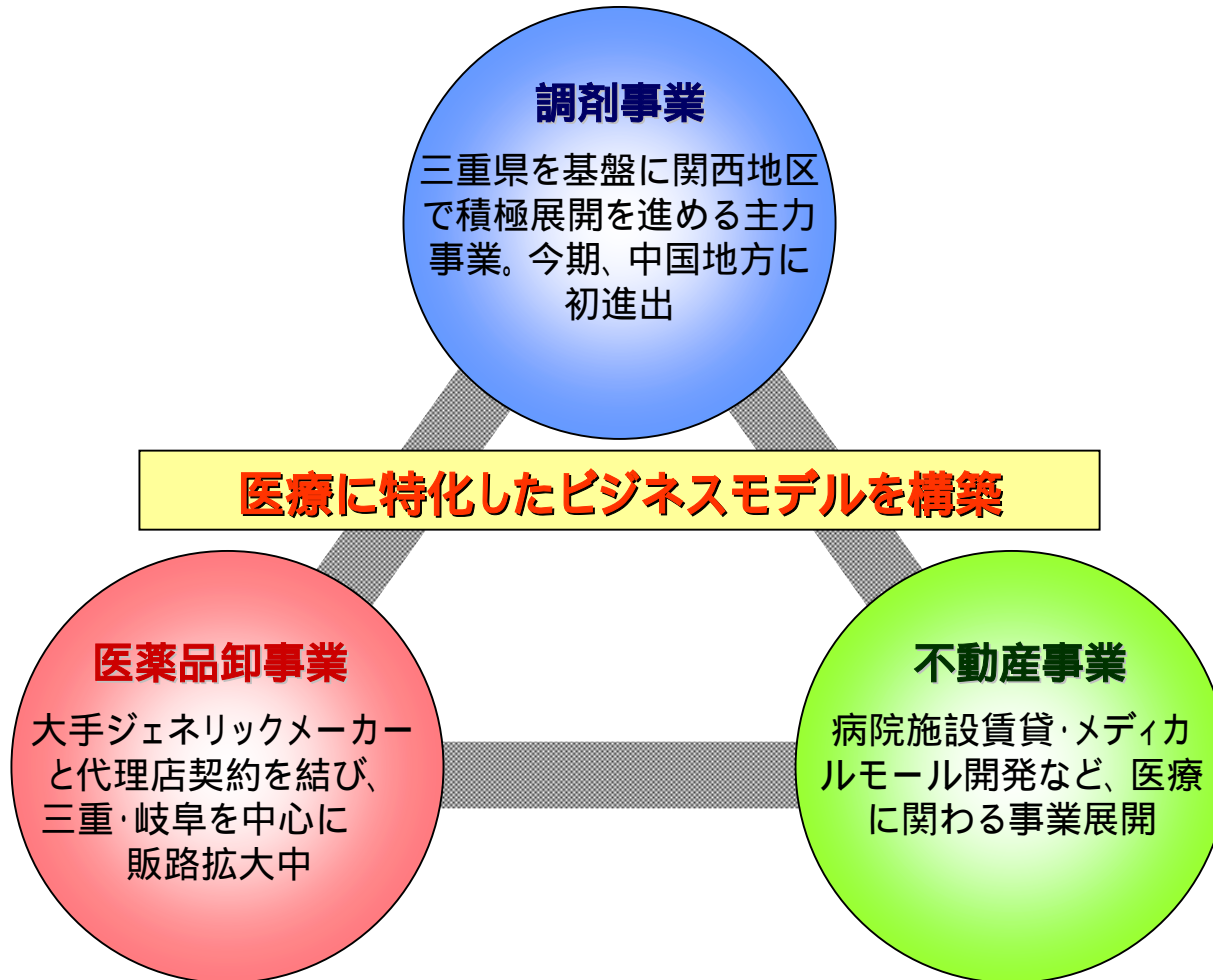


. 2006年2月期 中間決算概要

. 2006年2月期 通期見通し

. 今後の事業戦略

# ■ 三事業のシナジー効果



## ■ 調剤事業(フラワー薬局枚方店)

- 2006年1月、大阪府枚方市にフラワー薬局枚方店を開局
  - 立地条件、店舗設備、接遇の全てにおいて地域一番店を目指す
  - 病院とオーバブリッジでつながり、患者様が最も利用し易い店舗
  - 売上規模は10億円、収益性においても当社最大級

【関西医科大学附属枚方病院】



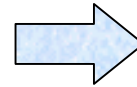
【フラワー薬局枚方店】



# ■ 調剤事業

## ■ 2006年1月、大阪事務所を開設

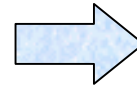
- 関西地区における店舗サポート
- 新規出店店舗の開拓



更なる事業拡大に向け  
関西の拠点となる

## ■ 教育研修制度の見直し

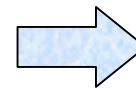
- 新入社員に3ヶ年研修を導入
- 自発的な学習意欲を高める  
研修メニューの拡充



薬剤師の質の向上

## ■ 収益力UPに向けた取り組み

- インテリジェントフィーの算定率UP
- 電子レセプトの導入による業務の効率化



調剤報酬改定に耐えうる  
収益基盤の確立



# ■ 出店戦略

## ■ 医薬分業率の低い関西圏での出店開発を加速

【 医薬分業率の高い地域 】

順	都道府県	分業率
1	秋田県	72.9%
2	佐賀県	71.4%
3	神奈川県	70.7%
4	沖縄県	67.5%
5	宮城県	66.0%
6	新潟県	65.9%
7	東京都	65.4%
8	宮崎県	62.9%
9	北海道	61.8%
10	青森県	61.4%

【 当社開発地域 】

順	都道府県	分業率
28	兵庫県	51.4%
29	岐阜県	48.5%
31	島根県	46.9%
34	滋賀県	45.6%
35	三重県	43.7%
37	愛知県	42.3%
39	奈良県	37.9%
40	大阪府	37.3%
45	京都府	30.8%
47	福井県	18.7%

当社開発地域の分業率は  
全ての府県で全国平均を  
下回る

全国平均	53.8%
------	-------

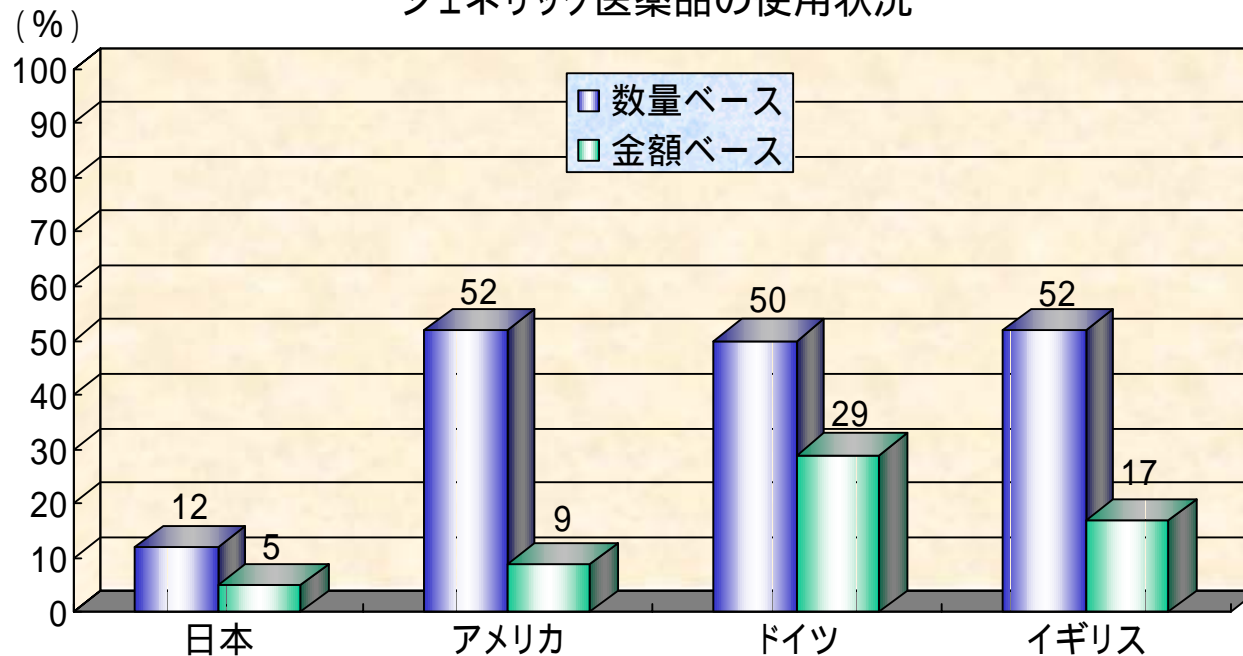
(出所) 日本薬剤師会  
平成16年3月～平成17年2月

# ■ 医薬品卸事業

## ■ 沢井製薬、大洋薬品工業の代理店として販路を拡大

- ジェネリック医薬品市場の拡大を追い風に売上増を図る
- 岐阜県に営業所を設置し、新規開拓を進める(上期実績25軒)

ジェネリック医薬品の使用状況



(出所) 2002年 医薬工業協議会

# ■ 新規事業

## ■ 来年度、第1号となるメディカルモールを開業予定

- 開業を予定している医師との入居調整が進展
- 開発予定地の造成を完了

## ■ 介護事業に進出予定

- 有料老人ホーム等の施設系介護事業に参入
- 株式会社グローバル総合研究所と業務提携



メディカルモール、調剤薬局、老人ホームを一箇所に集めた  
独自性の高いビジネスモデルを展開する

## ■ 介護事業への参入

### ■ 株式会社グローバル総合研究所と資本業務提携

- (1) 名称 …………… 株式会社グローバル総合研究所
- (2) 設立 …………… 平成9年5月
- (3) 本社所在地 …… 愛知県名古屋市千種区
- (4) 資本金 …………… 70百万円
- (5) 売上高 …………… 839百万円(平成17年3月期)
- (6) 従業員数 ……… 19名
- (7) 事業内容 ……… 医療・介護施設の経営コンサルティング、有料老人ホームの経営等  
(クライアント先は40軒以上)
- (8) 提携による強み … グローバル総研の介護ノウハウと当社の医療ネットワークを活用し、  
高齢者施設において医療と介護の融合を目指す



# ■ 介護事業への参入

## ■ 目的

- 調剤に次ぐ事業の柱として育成し、収益の獲得を目指す
- メディカルモール事業との融合

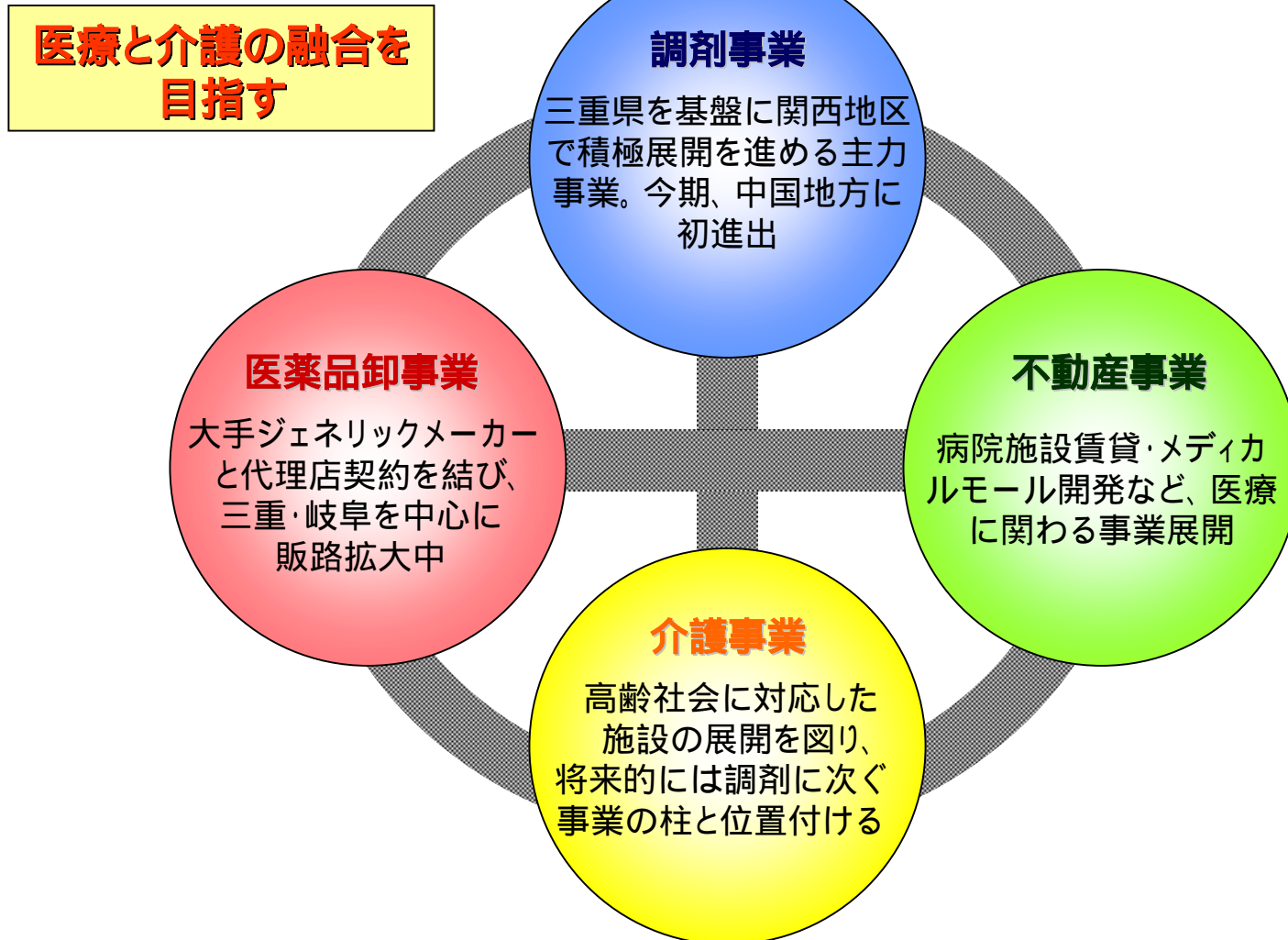
## ■ 背景

- 高齢化の進展に伴うビジネスチャンスの拡大
- これまでの事業展開の中で培った医療ビジネスに関するノウハウと医療機関とのネットワークを活用

## ■ 今後の予定

- 2005年10月、100%出資の運営子会社(株)ヘルスケア一光を設立
- 2006年度中に第1号となる施設を開設
- 今後3年間で5施設を開設予定

# ■ 将来の事業イメージ

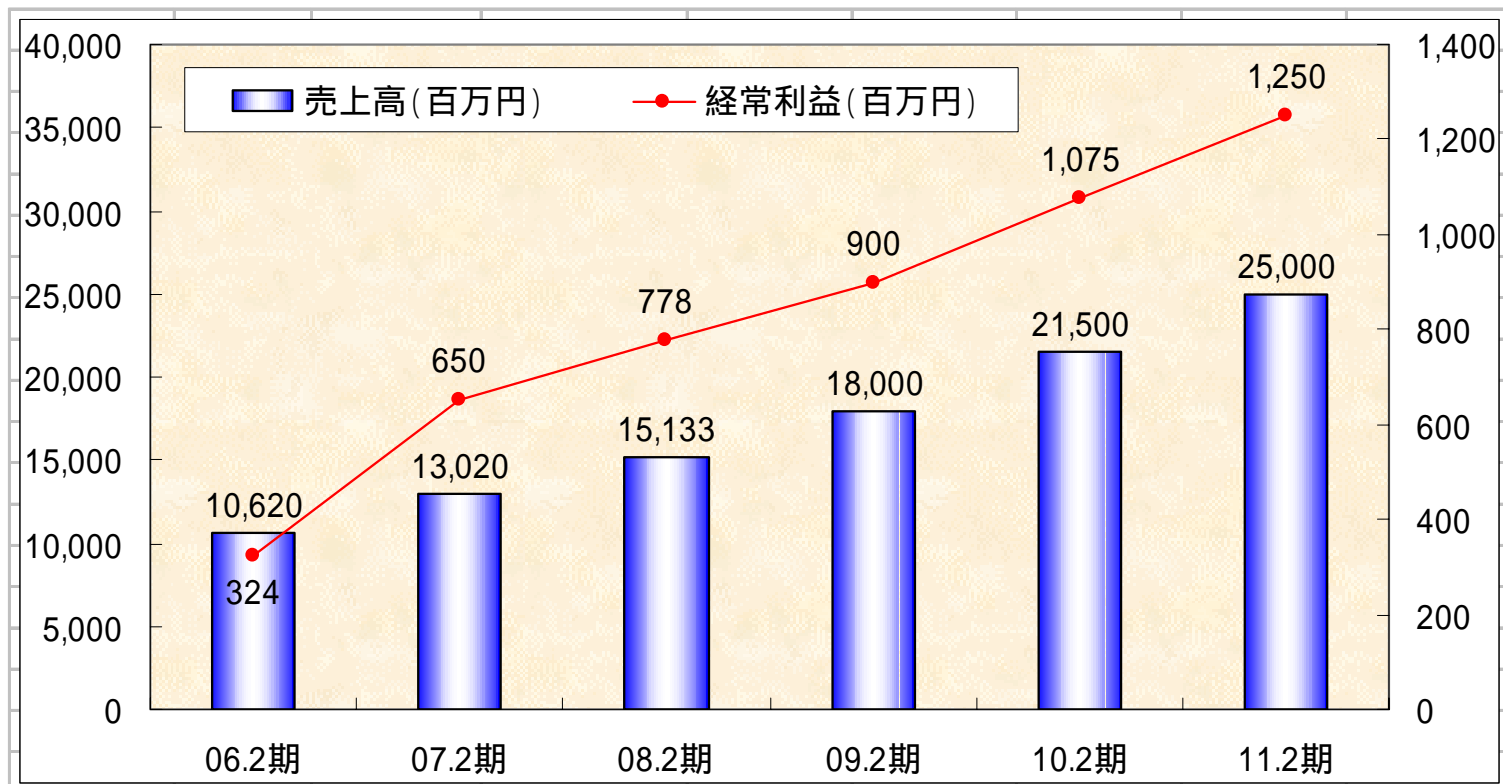


# ■ 中期経営計画

	06.2期	07.2期	08.2期
売上高	10,620	13,020	15,133
経常利益	324	650	778
経常利益率	3.1%	5.0%	5.0%

2006年4月の調剤報酬改定  
薬価改正の影響は考慮せず

(単位:百万円)



## ■ 問い合わせ先

株式会社メディカルー光 IR担当

電話：059-226-1193(代表)

FAX：059-227-6107

E-mail：ir@m-ikkou.co.jp

URL：http://www.m-ikkou.co.jp